



# 地域子育てネットワークだより

平成30年2月号

発行／兵庫県子育て応援ネット推進協議会事務局

〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1 兵庫県企画県民部男女家庭課 電話:(078)341-7711 内線 2875

E-MAIL: danjokatei@pref.hyogo.lg.jp

http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk17/network-dayori.html

## 子育て応援ネット全県大会を開催します！

とき：平成30年2月8日（木）  
13:00～15:30

ところ：兵庫県公館 大会議室

家庭・地域・学校が連携し、地域ぐるみで子どもを育て見守ることが、ますます必要とされているなか、「子育て応援ネット」の活動事例などを交えながら、地域の子育て支援をどのように進めていけばよいのかについて、みんなで考えます。

- ◆ くすの木保育園（神戸市須磨区）の園児のみなさんによる合唱
- ◆ 子育て応援ネット活動事例発表 2団体
  - ・伊丹市子育てサークルネットワーク（阪神北）
  - ・姫路市連合婦人会（中播磨）
- ◆ 基調講演

「乳幼児虐待の未然防止には地域子育て家庭応援活動がいかに大切か」

中村 肇 氏（兵庫県立こども病院名誉院長）

参加無料



講演では、なぜ、子ども虐待防止には地域での子育て家庭応援隊の力が欠かせないのか、お母さん方が自身を持って育児に取り組めるようにするにはどのように支援するか、脳科学の進歩により明らかになった子どもの脳がもつ不思議な力からお話いただきます。

《お問合せ先》

兵庫県企画県民部女性青少年局男女家庭課家庭応援班

電話:(078)362-4185 内線 2798/FAX:(078)362-3891 E-MAIL: danjokatei@pref.hyogo.lg.jp

## 「ひょうご子育て応援の店」 パソコンで会員登録可能に！

県では、企業・店舗等が18歳未満の子どもがいる子育て世帯に割引・特典等のサービスを行う「ひょうご子育て応援の店」を実施しています。現在約60,000世帯がパスポート会員として県内約4,600店の協賛店から物販、飲食、その他のサービスを受けています。平成29年4月からはパソコンからの会員登録も可能になりました。ぜひこの機会にご登録ください



サービス内容の例 ※各企業・店舗等の企画により特典は異なります。

- ・料金の割引（特定日に割引、ポイント加算、景品プレゼント等）
- ・協賛店が主催する行事への参加（子ども向け行事への参加等）
- ・子ども連れにやさしい設備の利用（プレイルーム、授乳室、ベビーベッドの利用等）

このマーク  
が目印!!

★協賛企業・店舗等の検索・サービス内容確認など詳しくは・・・「ひょうご子育て応援の店」ホームページ <http://www.hyogo-kosodate.jp/> 【問合せ先】男女家庭課 078-362-3385

## 応援ネットの 活動紹介

声かけ・見守り活動などで子育て家庭を応援する「子育て応援ネット」の各地の取り組みを紹介しします。

稲美町では、県の女性団体が主唱していることに倣って、女性団体連絡会の9団体を中心となり「稲美町子育て支援女性ネットワーク」として、それぞれの地域・校区単位で子どもの見守りや声かけ、パトロールによる安全確保に取り組んでいます。

普段のパトロールでは、下校時に子どもたちと一緒に帰ったり、交差点や危険な箇所でおかえり「気をつけて帰ってね」と声をかけるなどの見守りをしています。

最近の事件や事故の報道を見るたびに、大人の目の届かない場所や危険な時間帯に子どもたちが被害に遭っているように思います。

自分の子どもだけでなく、「地域の子どもは地域で育てる」を心にきざみ、国の宝ものである未来の子どもたちをこれからもしっかり見守り、子育て支援活動に取り組んでいきます。

今年度は見守り時に使用するベストと横断幕の作成、未就園児親子学級への備品購入を行い、活動を拡げていきます。

【稲美町子育て支援女性ネットワーク 会長 吉岡敏子】



## まちの子育て ひろばの紹介

子育て中の親と子が気軽に集い、仲間づくりを通して子育ての悩みを話し合う拠点「まちの子育てひろば」を、まちの子育てひろばコーディネーターが取材します。

篠山市の「たんなん子育てふれあいセンター」では、子育てに役立つ様々な講座を取り入れています。訪問した日は、年8回行われている「赤ちゃん講座」～赤ちゃんのリズム遊び～でした。今回の講師は、丹波地域で人気の音楽療法士のアドバイザーさんでした。初めに、ピアノと歌に合わせて、お母さんが赤ちゃんのおなかや背中、ほっぺ等順番にタッピングしました。そうすると血流がよくなるそうです。次にマラカスや鈴、タンバリン等でクリスマスソングを合奏しました。赤ちゃんは楽器を使えなくても、音楽は心でも感じるものなので、リズムを取って体を揺らしたりします。そうすることが、情操教育につながるのではないのでしょうか。子どものうちから音楽に触れることは大変良いそうです。

参加されたお母さんは、「赤ちゃんも手足をバタバタさせて楽しそうで、私たちもリラックスできパワーをもらえました。」と、喜ばれていました。

【取材：丹波県民局 まちの子育てひろばコーディネーター田原】

○ひろば名：たんなん子育てふれあいセンター

○開設場所：丹南商工会館1階 篠山市網掛429

○開設日時：月～金 9時～16時

○問合せ先：丹波県民局 丹波健康福祉事務所企画課

TEL 0795-73-3754



## 10代の若者の活躍が目立っています

阪神北広域救急医療財団理事長・  
県立こども病院名誉院長 中村 肇

連載  
第132回

将棋の藤井聡太四段は若干15歳ながら公式戦29連勝し、大変注目をされています。冬季オリンピックを控え、10代選手の活躍も期待されています。

10代で世界のトップクラスになった運動選手や芸術家などを、天才少年あるいは天才少女と呼んでいます。二世選手もたくさんいますが、多くはごく普通の両親をもつ子であり、その子育てについて世間の人々は関心を示します。

テレビで映される親へのインタビューで、始めたきっかけは本人が進んでやり始めたと多くの親たちは答えています。また、本人自らが練習に取り組み、親は見守るだけだったとも話されます。

彼らの成功の秘訣は、「粘り強くやり抜く力」という天賦の才があったからでしょう。また、こども自身が伸ばし始めた芽を摘み取らずに、モチベーションを高めるように上手く育てられたご両親の力も大きいと思います。